

# 『源氏物語』の世界 その三十一

## 講座内容

世界文学史上に輝く『源氏物語』は、尽きるのこのないインスピレーションを、後代の人々と文学に与え続けてきました。この講座では『源氏物語』を原文(現代語訳付き)で、じっくり読んでいきます。『源氏物語』を初めて読む方でも大丈夫です。講師が時代背景などの必要知識を、わかりやすく丁寧に解説いたします。

期 間	5月19日～7月21日	受講料	16,000円
曜 日	火曜日	定 員	30名 ※最少催行人数10名
時 間	10:45～12:15	会 場	関内アカデミック・リサーチセンター
回 数	全7回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が配布資料を用意します。		
備 考	●この講座は5月11日(月)までに中止の連絡が無ければ開催となります。		

## 講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	5月19日(火)	「梅枝」-② 光源氏と紫の上は、お香の調合を始めます。
2	6月 2日(火)	「梅枝」-③ 光源氏は縁のある女性達に、お香の調合を依頼します。
3	6月16日(火)	「梅枝」-④ 光源氏は兵部卿宮に、お香の判定を依頼します。
4	6月23日(火)	「梅枝」-⑤ 光源氏は、見事な仮名書きの冊子を集めました。
5	7月 7日(火)	「藤裏葉」-① 内大臣は、娘の雲居雁と夕霧の結婚のことで悩んでいます。
6	7月14日(火)	「藤裏葉」-② 内大臣は夕霧を、自邸の藤の宴に招きます。
7	7月21日(火)	「藤裏葉」-③ その夜、夕霧と雲居雁は結婚しました。

## 講師紹介



### 宇留田 初実(うるた はつみ)

聖徳大学兼任講師

青山学院大学大学院日本語・日本文学専攻、博士課程単位取得満期退学。専門分野は日本文学(平安時代)、幼児言語学、国語教育。詩人(2003年コスモス文学新人賞受賞)。著書に「情報と表現 一日本語の表現と技法」(共著 双文社出版) 2016年。